

平成 20 年 9 月 22 日

平塚市長 大藏律子 殿

「(仮称)JV平塚市黒部丘計画」の変更を求める陳情 趣旨
5 1 1 3 筆 署名添付

黒部丘・葦平のみどりとくらしを守る会 代表

黒部丘・葦平地区は、低層住居中心の落ち着いた住宅地景観を形成しています。これは、市民・行政の長年の努力によって維持されてきた、地域の貴重な環境財産です。一たび壊されてしまうと、元に戻すのは容易なことではありません。

さる 4 月に発表された、日本たばこグランド跡地におけるマンション建設計画は、そのような地域の良さを一変させる危険性をはらんでいます。計画通り建設されると、街づくりどころか、街壊しの前例となってしまうのではないかと、この建設が地域の財産をこわし、地域の力を削ぐことになるのではないかと、大変危惧しております。

まず一見 8 棟に見えながら、エキスパンションジョイント（渡り廊下）で繋いで 2 棟と数える構造。これにより建築可能な戸数が大幅に増えることから「数の偽装」とも言われており、全国的にも係争点となっています。この規模でこの構造は平塚初のため、認められると市の前例となるかもしれません。次に、それらが敷地一杯に建てられる超過密設計。そして市内有数規模（357 戸）にふさわしいインフラ（道路幅など）が十分に整備されていない立地の問題。改善を願う問題点は、他にもいくつもあります。

日本たばこ跡地はこの地域に残された開発可能な重要な跡地です。この土地のあり方は、まちづくり条例が施行され、都市マスタープランの策定が行われつつある今、その精神を実現するうえで大変重要です。より魅力的な街を次世代に伝えていけるよう、貴殿におかれましては、事業主に対し計画の見直しを強く求めるご指導、要請をお願いしたく、私たちは陳情書を作成し、5 1 1 3筆の署名をそえて、提出いたします。参考資料も添えさせて頂きました。

私達近隣住民の気持ちをご理解頂き、ぜひご高配賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

以上

「(仮称) J V 平塚市黒部丘計画」の変更を求める陳情 趣旨

黒部丘、董平のみどりとくらしを守る会 代表

黒部丘・董平地区は、低層住居中心の落ち着いた住宅地景観を形成しています。これは、市民・行政の長年の努力によって維持されてきた、地域の貴重な環境財産です。一たび壊されてしまうと、元に戻すのは容易なことではありません。

さる 4 月に発表された、日本たばこグラウンド跡地におけるマンション建設計画は、そのような地域の良さを一変させる危険性をはらんでいます。計画通り建設されると、街づくりどころか、街壊しの前例となってしまうのではないかと、この建設が地域の財産をこわし、地域の力を削ぐことになるのではないかと、大変危惧しております。

まず一見 8 棟に見えながら、エキスパンションジョイント（渡り廊下）で繋いで 2 棟と数える構造。これにより建築可能な戸数が大幅に増えることから「数の偽装」とも言われており、全国的にも係争点となっています。この規模でこの構造は平塚初のため、認められると市の前例となるかもしれません。次に、それらが敷地一杯に建てられる超過密設計。そして市内有数規模（357 戸）にふさわしいインフラ（道路幅など）が十分に整備されていない立地の問題。改善を願う問題点は、他にもいくつもあります。

日本たばこ跡地はこの地域に残された開発可能な重要な跡地です。この土地のあり方は、まちづくり条例が施行され、都市マスタープランの策定が行われつつある今、その精神を実現するうえで大変重要です。より魅力的な街を次世代に伝えていけるよう、議会・行政におかれましては、事業主に対し計画の見直しを強く求めるご指導、要請をお願いしたく、私たちは、陳情書を作成し、提出いたします。参考資料も添えさせて頂きました。なお平塚市長大藏律子殿には、陳情書に_____筆の署名をそえて提出いたしました。議員の皆様におかれましては、私達近隣住民の気持ちをご理解頂き、ご高配賜りたくお願い申し上げます。

（ 署名に際して添付した陳情書 ）

平塚市長 大藏律子様

黒部丘・董平のみどりとくらしを守る会 代表

現在、黒部丘の日本たばこグラウンド跡地に、長谷工コーポレーションなど 5 社により大型マンションが計画されています。

このマンションが、まちづくり条例の精神にのっとり、周辺住民との共存可能なマンション計画になるよう、行政、事業者、住民共々考えていきたいと思っております。

主な要望は、以下のとおりです。

行政、議会のご理解を頂き、事業主への指導、要請をぜひともお願いいたします。

- 1) 東西の棟は取り去って、圧迫感を減らしてほしい。
- 2) 建物は、道路境界よりじゅうぶんに下げて建築してほしい。
- 3) 地域の安全のため、車出入口は分散化し、複数にしてほしい。
- 4) 災害時の安全確保のため、マンション内に道路（敷地内通路）をつくってほしい。
- 5) 総戸数を減らして、低層住居地域にふさわしい緑豊かなマンションにしてほしい。

以上

陳情書

平塚市長 大蔵律子様

黒部丘・董平のみどりとくらしを守る会 代表

現在、黒部丘の日本たばこグラウンド跡地に、長谷工コーポレーションなど5社により大型マンションが計画されています。

このマンションが、まちづくり条例の精神にのっとり、周辺住民との共存可能なマンション計画になるよう、行政、事業者、住民共々考えていきたいと思ひます。

主な要望は、以下のとおりです。

行政、議会のご理解を頂き、事業主への指導、要請をぜひともお願いいたします。

- 1) 東西の棟は取り去って、圧迫感を減らしてほしい。
- 2) 建物は、道路境界よりじゅうぶんに下げて建築してほしい。
- 3) 地域の安全のため、車出入口は分散化し、複数にしてほしい。
- 4) 災害時の安全確保のため、マンション内に道路(敷地内通路)をつくってほしい。
- 5) 総戸数を減らして、低層住居地域にふさわしい緑豊かなマンションにしてほしい。

以上

氏名	住所